

小学生リポーター「日本昭和村」に行く オープン前の突撃レポート

3

①リポートにあったつり橋は、昭和村ゾーンの溪谷に架かっています。②昭和30年代にタイムスリップしたような建物「やまびこ学校」は、大野郡宮村の旧宮小学校校舎を移築したものです。③公園の中央にある畑では、4月中旬に5万本のチューリップが咲く予定です。



① つり橋



▲突撃レポートに参加していただいた西田さん親子。左から早百合さん、信子さん。



② やまびこ学校



③ 畑

小学生突撃レポート その③

昭和30年にタイムスリップできる公園

文・写真／西田早百合さん（山之上小学校5年）

みんなより一足先に、「日本昭和村」を見学しました。

事前の説明会で、昭和村のことを詳しく聞かせてもらい、私の家の近くにこんなすごい施設ができて、ことにビックリしました。そして楽しそうな所だなーとワクワクしてきました。

見学会の当日、工事中の昭和村に着いてみると、大勢の工事のおじさんたちが、テキパキと作業をしてみえました。

昭和村は、説明会の際の印象を思うと、かなり広い所でした。入場門を通つてすぐ、日本で一番大きい木の化石といわれる珪化石（けいかし）があります。それから中へ入っていくと、自然ふれあいゾーンやわくわく体験などがあります。6月にはホタルが見られるようになるそうです。

と中に、つり橋がありました。私が小学校3年生のときの国語の教科書に、「つり橋わたれ」というお話がありました。私はつり橋を見たとき、そのお

話がパツと浮かび上がってきました。

昭和村は、日本中が一生涯命がなばつてきた昭和30年ころにタイムスリップできるように、いろんなこだわりを持ってつくられていました。これも、工事の人たちの「人を楽しませよう！」と思う気持ちが、いくつが重なり合つてできたものだと感じました。

村の中には、ウマやウサギ、ラマ、ヤギなど、あまりさわつたことのない動物がいるので、開園がとっても楽しみです。



▲4月中旬にはレンゲソウが、9月下旬には彼岸花が咲く棚田（早百合さん撮影）